

不祥事根絶に向けた校内ルールについて

本校では、最重点課題として、コンプライアンス意識の向上のため、多面的に研修に取り組んでいきます。今年度は、「**当事者意識の向上**」をコンセプトとして、組織的にコンプライアンス推進を目指します。研修としては、毎月の職員会議で、非違行為の事例紹介を実施し、知見を広めます。各部、学年単位、若手によるOJT研修等、多様な集団で話し合い活動をしながらか相互理解を深めると同時に知識を増やすことで、風通しの良い職場を目指します。最悪な状態を想定して、衝動的な感情や欲求をコントロールしたり、自分の身に降りかかる危機や困難に対処したりできるよう、「復元力」(落ち込んだ気持ちを復元する力)「予測力」(ダメージをあらかじめ予測する力)・「妥協力」(完璧を求めず現状を受け入れる力)・(齋藤孝：明治大学文学部教授 日本テレビZIP「齋藤先生の3分授業より」を身に付ける研修を進めていきます。

また、現在、地域と共にある学校を目指し、学校運営協議会の委員の皆様から地域の方々へ、ネットワークを広げ、様々な形で学習活動に参画していただいております。そのような背景も踏まえ、まずは本校教職員が信頼され、地域の方々と共に児童生徒の自立と社会参加を支えられるよう、校内の取組みを発信し、外部の方々とも共有して不祥事根絶に取り組めます。

まずは、校内ルールを明文化し、不祥事が生じないための共通認識として、教職員が一丸となって取り組んでいきます。

1 児童生徒の個別指導（個別に面談等をする場合）に関すること

- ・基本は複数人対応とする。
- ・個別に対応する場合（個別に事情を聞く等）は事前に対象児童生徒・内容・場所・時間等を学年主任に知らせ、学年主任から部主事、管理職まで報告する。入り口の扉は開けておくなど、密室状態にしない。
- ・まずは傾聴し、ハラスメントにつながらないよう言動に注意する。
- ・電話、メール、SNS等による私的なやりとりはしない。

2 個人情報の取り扱いに関すること

- ・個人情報を含むものは原則持ち出しをしない。
- ・持ち出し可能の情報、タブレット端末等については、必要書類を作成し、管理職の許可を得て持ち出し、申請期間内に返却報告する。
- ・個人の携帯電話で、児童生徒の写真等の撮影をしない。
- ・USB等記憶装置は原則使用しない。
- ・複数人にメールを送付するときには、BCCを使って行う。誤送信防止に努め、送信前に複数名で確認する。

3 交通に関すること

- 飲酒に関すること(1)：学校から直接宴席に参加する場合（学校全体、各部、学年等）
 - ・ 飲酒する際は、車を使用しない。運転代行は使用しない。
 - ・ 管理職、部主事、幹事は、宴席までの交通手段を把握する。
 - ・ 飲酒する場合は、目印(シール等)を目立つところに装着し、確認できるようにする。
- 飲酒に関すること(2)：個人的な宴席参加や晩酌等の場合
 - ・ 時間外、休みの日でも、教育公務員であることを自覚し、「つい」「うっかり」をしない。させない。
 - ・ 翌日運転する場合は、夜遅くまで飲酒しない。させない。深酒をした場合は、運転をしない。させない。
- 交通法規に関すること
 - ・ 常に余裕をもって運転できるよう、生活を整える。
 - ・ 交通法規を厳守し、交通事故を起こさない。もし、事故を起こしてしまった場合は、深呼吸をして、適切な処置をする。後のことを想像し、教育公務員として誠意ある行動を心がけ、安全が確保できたら速やかに管理職に報告する。
 - ・ 児童生徒を自家用車には同乗させない。緊急で対応できるのは、管理職のみである。

4 事故防止・盗撮等防止に関すること

- ・ 校内の物品等の整理をし、いらぬ物を放置せず、死角を作らないようにする。
- ・ 毎月の安全点検を徹底し、修繕が必要な場所を把握し、事故防止につなげる。
- ・ 管理職は校外、校内の巡視を行う。
- ・ 教室のドアに掲示物は貼らず、常に外から見えるようにし、カーテンは開けておく。
- ・ 個人の携帯電話は非常時（救急搬送等連絡時、津波等避難時）以外使用しない。

5 相談、連絡に関すること

- ・ 管理職は、教職員が相談しやすいよう、日頃から言葉かけを行う。
- ・ 教職員は、報告・連絡・相談を徹底し、学校としての対応を心がける。
- ・ 児童生徒が自ら相談しやすい環境を設定する。（相談体制：しゃべっちゃオのポスター提示）
- ・ ホームページ上に相談先の掲載を行う。

6 児童生徒・教職員の防災・防犯意識向上に関すること

- ・ 外部機関との連携による防災、防犯に関する学習の機会を設定し、防災・防犯教育を実施する。
- ・ 教職員に対し、県教育委員会発行の「One IBARAKI」を活用した研修等を実施する。
- ・ 校内のコンプライアンス推進計画にそって、研修を実施するとともに、「自分事」として振り返るチェックリストを活用する。